

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	チイキブンカⅡ①	(フリガナ)	サルワタリ トキ
授業科目名	地域文化Ⅱ①	担当教員名	猿渡 土貴
英文授業科目名	Region and Culture II		
基準年次(開講期)	1年(後期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	火1限/浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	地域性、景観、東日本と西日本、海、山、生業、民家、家族、郷土料理など。		
授業概要・目的	<p>エスカレーターの左側に立ってしまうあなた！関西では邪魔にされますよ！ エスカレーターの立ち位置、ウナギの調理のしかた、「アホ」と「バカ」、うどん文化とそば文化…。 気をつけてみると、狭い島国でありながら、日本の民俗(みんぞく)(folklore)は地域によって実に多様な顔を持っている。本科目では、言葉、家族構造、食生活、社会組織など身近で具体的な事例をもとに、東日本と西日本、海と山の地域的な民俗(文化)のちがいを中心に、日本民俗の多様性について概観する。そして、地域ごとに様々な顔を見せる日本文化(民俗)の多様性について学び、問題意識を持って自ら進んで研究できるようになることを目的とする。</p>		
到達度評価の評価項目	出席と授業への積極性を重視する。欠席が多い場合、試験を放棄した場合、授業態度が悪い場合は、成績を評価しないので注意すること。		
授業計画			
第1回	ガイダンス 日本の地域性について		
第2回	東日本と西日本① 景観から見た差異		
第3回	東日本と西日本② 集落の構成		
第4回	海に生きる人々 生業と技術		
第5回	山に生きる人々 生業と技術		
第6回	ところが変われば言葉が変わる 方言の話		
第7回	自慢の郷土料理① 調味料の話		
第8回	自慢の郷土料理② VTR		
第9回	自慢の郷土料理③ おせち料理について		
第10回	自慢の郷土料理④ だしの話		
第11回	日本の伝統的な家のつくりと住まい方① 気候と家の形		
第12回	日本の伝統的な家のつくりと住まい方② 神様のいる場所		
第13回	日本の伝統的な家のつくりと住まい方① 家族のありかたと住まい方		
第14回	まとめ		
第15回	まとめ②		
教科書・参考書等	毎回、レジュメを配布する。		
授業で使用する機器等			
予習・復習へのアドバイス	日本語で行う授業なので、より高い日本語力を習得する努力をしてほしい。また、新聞・雑誌・テレビの紀行番組などをみたり、電車やバスでの移動の際に周囲を観察するなど、問題意識を持って自ら情報を収集してもらいたい。		
履修上の注意・受講条件等	出席と授業への積極性を重視する。欠席が多い場合、試験を放棄した場合、授業態度が悪い場合は、成績を評価しないので注意すること。		
成績評価の基準等	授業態度 50%、期末テスト 50%		
メッセージ	講義は講師とみなさんで作っていくものである。受講マナーを守って、授業に積極的に参加してほしい。一緒に楽しい講義にいきましょう。		
オフィスアワー			
その他			